

2022 年 9 月 13 日

## 2022 年 8 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判、巻取ともに学参、金融、生損保の動きがみられ、なおかつ一部では価格修正前の駆け込み需要もみられたが前年を下回った。

前々年比では平判 100.5%、巻取 112.1%であった。

（前年比 平判 98.4% 巻取 92.3%）

再生紙平判は在庫不足や入札件数の減少により前年を下回った。前々年比でみても 69.8%であり回復の兆しがみえない状況である。

再生紙巻取は前月に引続き大口案件の受注があり、前年を大幅に上回った。前々年比では 226.2%であった。

再生紙全体では前年比 147.5%という大幅増という結果となった。

（前年比 再生上質平判 87.1% 再生上質巻取 235.7% 再生上質計 147.5%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 97.2%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 80.9%）

### <A2 コート>

平判はコロナ禍での制限もなく、旅行チラシ、金融、製薬、生損保、大学のパンフレットで動きがみられ、グロス、マット共に前年を上回った。

巻取は通販、食品デリバリー、不動産で一部動きがみられたが、雑誌も含め落ち込みが続いており、グロス、マット共に大きく前年を下回った。

（前年比 平判 105.3% 巻取 85.5% 全体 100.4%）

（2019 年比 A2 コート計 83.0%）

### <A3 コート>

ドラッグストアやスーパー、不動産、旅行などの定期、スポットのチラシ案件で動きがみられたが、平判、巻取共に前年実績に惜しくも及ばなかった。

（前年比 平判 98.4% 巻取 99.2% 全体 99.0%）

（2019 年比 A3 コート計 100.7%）

### <ノーカーボン紙>

平判は細かなコロナワクチン予診票の動きや一部生損保の動きがみられたものの、手書き伝票などの動きが悪く前年より落ち込んだ。

巻取は歳末商戦の申込書が動き始めるが生損保帳票の落ち込みが激しく前年を大きく下回った。

（前年比 平判 96.1% 巻取 86.1%）

#### <上質フォーム>

民間帳票は低調なものの、生保年次分やマイナンバー普及促進などの通知物の動きや価格修正後の製品在庫積み増しが消化されたこともあり前年を上回った。

(前年比 103.1%)

#### <包装用紙>

特殊両更は一般企業向け、役所向け封筒に動きがあり前年を上回った。

(前年比 116.1%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途の動きが鈍く前年を下回った。

(前年比 98.7%)

片艶晒は観光地のお土産用の包装紙の在庫積み増しと、金融機関向けの封筒が昨年とほぼ同様な動きを見せた事により前年と同等の動きとなった。

(前年比 102.6%)

両更晒は生命保険会社向け、一般企業向けに加えワクチン関係の封筒に動きがあり前年を大きく上回った。

(前年比 134.6%)

色クラフトは一般企業向け社用封筒、共済組合向け封筒に動きがあり前年を上回った。

(前年比 118.8%)

純白ロールは段階的な入国者数の引上げと国内の人流も昨年より増えていることもあり、お土産関連やお盆の生花店向けに動きがみられ前年を大きく上回った。

(前年比 124.0%)

包装紙全体でも 115.9%と前年を上回った。

#### <板紙>

コートボールは食品、日用雑貨、医薬品も好調であった。

高板はカードゲーム向けが好調だったが、出版、POP、化粧品向けは需要が回復せず低調であった。

特板はテイクアウト向けやファストフードの一次容器が安定するものの土産向けが低調であった。

チップボールは児童本の出版、エンタメ系、梱包材、貼箱向けに動きがみられた。

用途により増減はあるものの全体では前年を上回った。

(前年比 127.7%)